

2023年9月吉日

各位

一橋大学社会科学高等研究院

院長 大月 康 弘

医療政策・経済研究センター

センター長 本 田 文 子

一橋大学大学院経済学研究科

研究科長 佐 藤 主 光

一橋大学社会科学高等研究院医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
「社会連携プログラム 医療経済短期集中コース」についてのご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、一橋大学社会科学高等研究院医療政策・経済研究センターでは、エビデンスを重視する経済学を含む社会科学の知見から医療・介護の政策・実務の現場に貢献することを目的として、自治体職員・医療従事者等を対象とした高度職業人専門プログラム「社会連携プログラム 医療経済短期集中コース」を昨年度に引き続き開講することとなりました。

本コースでは、「科学的な根拠に基づいた政策立案 (EBPM: Evidence Based Policy Making)」を軸にデータに基づいた医療・介護に係る政策・経営の実態把握と分析、効率化に向けた手法等を紹介します。座学の他、演習・グループワークといったアクティブ・ラーニングを通じて、内容への理解を高めるとともに、異なるバックグラウンドの参加者間の交流・関係構築を促して、政策立案と現場の連携に繋げる契機とすることを目指しております。また、今年度は基調講演等におきまして、医療のDXやデータの利活用に関連するテーマを取り上げる予定です。参加者の方々とも積極的に議論させて頂ければと存じます。

本コースのパンフレットを同封させていただきますので、是非、ご関係部署にて、ご高覧いただき、みなさまの受講をご検討いただければと存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具



【本件連絡先】
国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院 (HIAS)
E-mail : hias-info@ad.hit-u.ac.jp

一橋大学「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の開催について

「HIAS Health 医療経済短期集中コース」は、医療経済分析の手法を基礎から実践的に学ぶ、社会人の方を対象とした2週間(週末の4日間)の短期集中コースです。第6回目となる2023年度は、11月17日(金)から11月26日(日)に開講いたします。

医療・介護の現場の専門職、医療・社会保障政策を立案する自治体職員、また民間企業の方を対象に、

Evidence-based Policy Making (EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案)の考え方と根拠の求め方を、演習を交えて基礎から学び、理解していただくことを目的として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) が実施するものです。今年は基調講演等におきまして、コロナ禍への現場の対応と全世代型社会保障の構築に向けた課題を取り上げる場を設けました。参加者の方々と積極的に議論させて頂ければと存じます。

コースの概要

期間	2023年11月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日) 11月17日(金)15時から、希望者を対象に「コースで使われる統計学の基本」の講義を行います。
会場	オンライン開催(ただし、11月18日(土)のみハイブリッド開催を予定しています。)
受講料	15万円/人 ※テキスト代等込み
申込方法	Web 申込み https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/
受付期間	8月1日(火)から9月30日(土)まで
定員	25名程度。受講申込書に基づいて書類選考が行われます。



コースの特徴

データから日本の医療を考えるための手法を実践的に学びます。HIAS Health における最先端の研究成果に触れることができます。医療経済分析における実践的な統計の手法について、講義とエクセル等の統計ソフトを用いた演習を通じて学ぶことができます。講義や講演などの座学と、演習やグループワークを組み合わせたアクティブ・ラーニングが導入され、より深い理解が得られます。医療従事者、地方自治体職員、民間企業社員と、受講者は多様です。4日間のコースを通じて、経歴や立場の異なる受講者間の交流・関係構築が促進されます。

コース開設の背景

100歳時代の到来や医療の高度・高額化に伴い、日本の国民医療費は年間42兆円を超え、深刻な財政リスクとなっています。医療・介護への社会のニーズを満たしつつ、制度を「持続可能」にするには、限られた資源(予算)の効率的な活用を考えなければなりません。そのために、これまで臨床・疫学的なアプローチが主流であった医療・介護分野の政策決定に、EBPM(科学的な根拠に基づく政策立案)を取り入れることが求められています。医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となっています。

お問合せ先

国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院

医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

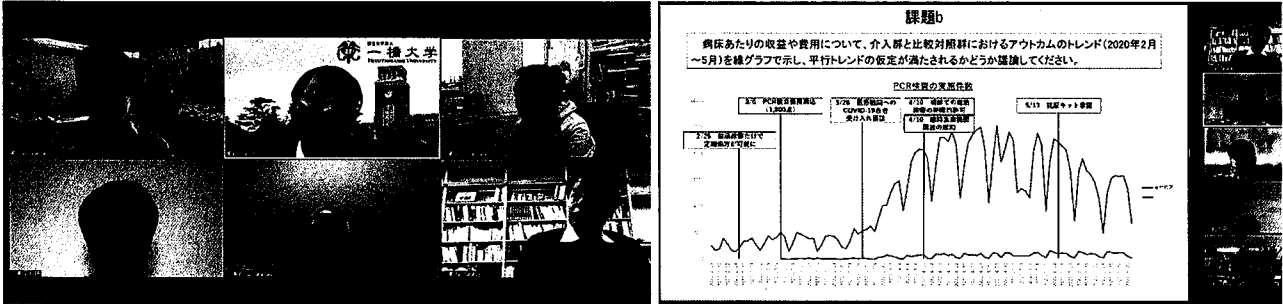
住所 〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地

E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp

HP <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

第5回医療経済短期集中コース

第5回目となった2022年度の「医療経済短期集中コース」は、2022年11月18日(金)、19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)の日程で行われました。新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行った上で、初日のみでしたが3年振りの対面を含めた Hybrid 形式で開催し、自治体、医療関係者、コンサル及び製薬企業など多様な分野から17名の受講生にご参加いただきました。



(パネルディスカッション)

(受講生によるグループワーク報告)

医療経済短期集中コース 受講生の声

受講者へのアンケートでは、85%以上の方から「本コースを誰かに薦めたい」とご回答いただきました。以下、受講生アンケートのご意見から(原文のまま引用)。

- 医療機関における管理会計は、公益性が高いため馴染まない・難しいものと思っておりましたが、営利企業さながらに取組まれ、その全体像や課題等を学ぶことができ、大変参考になりました。
- 医療計画の中で、コロナ禍での医療体制において、どの点がシステム上の短所であったのか、データを見る事で、非常に理解しやすく、かつ今までの認識の違いがわかり、大変有用であった。データ分析により、ものの理解への重要性が理解が出来たものとする。
- 費用対効果について、はじめて体系的に学ばせていただいたので大変参考になりました。可視化する意義やみんなが納得する解を導くための手段、またその結果が全てではない事など、とても腹落ちしました。そのためにも有効なデータ収集が今後重要になってくるなど、初心者でも分かり易い説明をありがとうございました。
- 医療現場で働き、日頃から費用対効果は診療報酬で馴染んでいる状況ですが、改めて聞き、考える事で「医療の価値」や「公平性」が考えさせられた。国民皆保険の意味による認識が少しずつ、人により違いがあるのは、「生きる」事への意味や認識の違いであり、質的評価の難しさを感じます。この中で今回講義受講は大変有用であったと感じます。経済という切り口で新しい知見を得られたことは有用であったと考えます。
- いろいろな目的があり、混在する中で政策がこうじられている事に理解が深まった。人々の動機意識やその意味理解から政策が構築されている。生活の中で、習慣化されて行動が多い中で、一般的に理解することで、医療治療にも参考になります。どう健康について、行動させ、支援するのかを考える参考になりました。ありがとうございます。
- インputのみの研修ではなく、学んだことをアウトプットできる場があるとより学びが深まると実感できました。グループワークの時間もバックグラウンドが異なるメンバーとの意見交換は、発想・思考も異なることがあり、気づきも多くとても有意義でした。

一橋大学社会科学高等研究院

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、2014年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字からHIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。さらに、社会的な重要課題の一つである、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決のために、質の高い社会科学研究によって貢献することを目的に、平成28年2月にHIASのもとに「医療政策・経済研究センター(HIAS Health)」を設置して研究を進めています。